

にフル勃起中と、もっぱら。昨年の総裁選にも出馬した小林鷹之政調会長(51)の下には若手・中堅議員らが集まっていますし、旧岸田派の林芳正総務相(65)も、側近たちと会合を重ねているようです(前同)

AIがどうだ、コンプラがどうだとしやらくせー!!

昭和世代上司 VS クソガキ 新入社員
入社1か月 珍 社内バトル 実況中継

4月に新入社員が入社して1か月。各職場では昭和世代の上司と、学生気分が抜けきらない新入社員による「社内バトル」が早くも勃発している。

「2024年に厚生労働省が発表した『職場のハラスメントに関する実態調査』によると、過去3年間に相談があったと回答した企業は、パワハラが64・2%で最多。セクハラの39・5%を大きく上回っています(全国紙社会部記者)」

若者文化研究所の西村美東士氏は、年配の上司と新

派閥を持たない高市首相にとつて、旧派閥が息を吹き返せば一転、窮地に……。高値安定に見える高市政権ですが、常に危うさを伴っているんです(有馬氏) 国民不在の永田町暗闘は、さらに熱を帯びそうです。

入社員世代が衝突する理由について、こう分析する。

「運命共同体」として、会社員は世代を超えて協働すべきですが、過去の価値を背負ってきた古い世代と、新しい価値を背負う新しい世代とは、価値感の共有は至難の業。おまけに年金問題などの、世代を分断する社会背景もありますし、互いに不満を持つのも自然な流れかもしれません」

まずは、クソガキ新入社員の「タイパ」重視な言い分を聞いてみよう。「上司がAIやパソコンの

ことになる、席まで来て、いちいち聞くんです。スマホで調べれば一発なのに……。で、嫌な顔をすれば最近の子は……。って。正直、時間効率が悪すぎますね(20代女性・営業)

そんな若者たちとコミュニケーションを取ろうと昭和世代上司が近づくと、「名前に、ちゃん付け。したらセクハラだし、飲みに誘えば、残業代は出ますか。なんて言うし。コンプラライアンスが、どうのこうのとうるさいくせに、ちょっと叱っただけで退職代行を使ってサヨナラですよ(笑)」(40代男性・経理)

結果、世代間の断絶が埋まるのは難しくなっている。

「そもそも朝気がない。オレらが若いときは、仕事で爪痕を残してやろうと必死だったけど、最近の若いやつは、そうした気概がない(50代男性・営業)」

西村氏によると、若者の体質が、こうした反応を生んでいるという。

「今の若者は、意見対立は避けたいが、自分らしさは貫きたい」と考える傾向が強い。結果、今のままで良い」と成長への願望も薄い。一方で、社会的承認欲しさに、SNSのような小さな同調集団にこもってしまうがちなんです」とはいえ、挫折もしたくないし、欠点を指摘されたくない心理は、人間誰しも

同じ。西村氏が助言する。「昭和世代も新入社員の頃は、当時の上司から頭から尾まで過保護のアンコがギッシリの。たいていキクン型。なんて言われていましたから。若者を理解不能などと言わず、こちらも自己拡大するつもりで付き合うのが歩み寄りの第一歩です」

子供叱るな来た道じゃ、老人笑うな行く道じゃ、ベテランと若者の対立は、今も昔も変わりませんな。



イランとのドンパチ 中にキリストに扮した理由
トランプ大統領 VS ローマ教皇
「神の冒瀆コスプレ」論争の深層

4月12日、ドナルド・トランプ米大統領が、SNSに、とある画像を投稿し、

物議を醸した。「画像は生成AIで作られたもので、なんと、トラン

プがキリストを思わせる衣をまとい、病人を癒やす姿が描かれていました。空に